

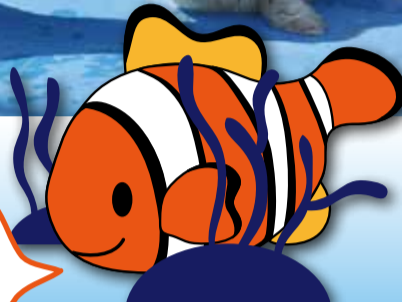
水族館 開館50周年記念!

昭和43年7月21日に、北海道開道100年、稚内市開基90年、市制施行20年の記念事業として、日本で100番目の水族館「ノシャップ寒流水族館」は開館しました。

今年は、開館してから50年の記念の年です。この記念すべき年に、より多くの方にノシャップ寒流水族館の水棲生物の生態や開館からの歴史について知っていただきたく、様々なイベントを行います。ぜひ、お越しください!



ポクの名前が
きまるんだよ!
楽しみだなあ♡



ポクたち、
「カクレマニ」も
稚内のみんなに
会いに行くよ!
水族館で会おうね

問い合わせ/市科学振興課 ☎ 23 - 6278

◆水族館50周年記念セレモニー

日時/7月21日(土) 11時~
(水族館・科学館は無料開放!)

場所/ノシャップ寒流水族館

内容/募集していた「水族館・科学館の愛称」や「アザラシの赤ちゃんの名前」の発表、表彰式を行います。来場者には記念品も!

◆海に関する巡回展

日時/7月14日(土)
~9月2日(日)

場所/稚内市青少年科学館

内容/「わたしたちのかけがえない海ーはじめての海の科学ー」と題したパネル展を開催します

◆歴史パネル展

日時/7月21日(土) ~ 8月31日(金)

場所/ノシャップ寒流水族館

内容/ノシャップ寒流水族館50年のあゆみをふりかえる歴史パネル展を開催します。懐かしの写真もありますよ!

◆友好都市の魚類展 (企画展)

日時/7月21日(土)
~9月30日(日)

場所/ノシャップ寒流水族館

内容/遠く離れた友好都市、石垣市と枕崎市からやってきた魚たちを展示します

【ツアー日程】

※旭川市内の行程は2班に分かれて行動するため、時間や場所が前後する場合があります。

6:36	10:19	10:30 ~ 15:30
稚内駅	旭川駅	旭川駅・運転所見学 記念撮影、昼食(各自)
16:00 ~ 19:00	19:30	20:06 23:47
イオン旭川西	旭川駅	稚内駅 夕食(各自)

内容/ 稚内〜旭川間をJRで往復、旭川駅に到着後、JR車両の基地「旭川運転所」を見学、記念撮影や買い物などを楽しまします。

※応募人数が定員を超えた場合は抽選となります。

日時/8月1日(水)
稚内〜旭川往復(日帰り)
募集対象/小学生とその家族(定員40名)

宗谷本線の維持・存続に向けた、JRの利用促進策の一環として、JR利用促進親子ツアーを開催します。普段、立ち入ることのできない旭川駅のバックヤードや旭川運転所を見学できる「親子向けツアー」です。夏休みの思い出作りにはぜひ、ご参加ください!

JR利用促進 親子ツアーのご案内

問い合わせ/市地方創生課
総合戦略推進グループ
☎ 23 - 6192
Fax 23 - 3281

申込期限/7月18日(水)

※その他、詳細については問い合わせください。

申し込み方法/ 申し込み用紙は市役所1階受付、3階地方創生課窓口に設置しています。また、市ホームページからもダウンロードできます。

ツアー代金/ 大人9,300円
小人5,400円(小学生以下)
ツアー代金に含まれるもの
・JR運賃・料金(稚内〜旭川往復、指定席)
・貸切バス(旭川市内)
・旅行損害保険代

人と地球にやさしいまちわっかないを目指して ④

「ごみを減らし資源を有効につかうまち~循環型社会の形成~」

第2次稚内市環境基本計画では、5つの基本目標を掲げています。今月は基本目標「ごみを減らし資源を有効につかうまち」の実現に向けた取り組みの紹介です。



本市では、金属や容器包装プラスチック類の分別収集のほか、家庭系一般ごみの有料化、生ごみの分別回収等を行い、ごみの減量化とリサイクル率の向上を目指した取り組みを進めています。

リサイクル率は年々上昇しているものの、一方で、市民一人一日あたりのごみ排出量が多く、全道35市中、35位となっています。

廃棄物処理における循環型社会構築のためには、3R(リデュース、リユース、リサイクル)が大切であり、まずはごみを出さないリデュース(排出抑制)を徹底し、その上でリユース(再利用)、リサイクル(再生利用)をしっかり行うなど、ごみの総排出量を削減する取り組みを進めていくことが必要です。

このため、基本目標を「ごみを減らし資源を有効に使うまち」とし、次のような取り組みを継続的に進めていきます。

【ごみ減量化、循環型社会の実現に向け、以下のようなご協力を!】

- ・エコバッグ、マイ箸、マイボトルの持参、詰替え商品の購入など、 unnecessaryな容器や包装を受け取らない
- ・適量の調理、適量の注文など食べ残さない工夫による生ごみの減量化
- ・長寿命製品の購入やレンタルを活用した廃棄物の減量化
- ・分別の徹底、フリーマーケットの利用などリユース、リサイクル活動の実施

問い合わせ/市環境エネルギー課環境政策グループ ☎ 23 - 6386